

事業者からの意見・提案一覧

令和元年8月30日

独立行政法人日本学生支援機構

【意見招請番号3】「請求書」封入・局出し業務

項番	カテゴリ	意見・提案	回答
1	仕様書等について	本件につきましては、設備投資が必要であり、仮に受託したとしても1年間では回収面において厳しいです。複数年の受託でないと、設備投資できず、入札を辞退する場合がございます。	本業務については、封入件数の変動や封入物の点数の変更等、仕様の変更が毎年予測されることから、複数年契約の締結は困難であり、ご意見をいただきましたが単年度の契約といたします。
2	仕様書等について	専門的な機械を所有していないと対応できない仕様ですと、参加者が限定されてしまいます。しかしこれを手作業で検査し封入することが可能となり、多くの業者で対応できる仕様にしても、納期（中3～4営業日）的に難しく、また作業費用も高額となってしまいます。・OCR-フォントではなく「バーコード」に変更とリーダー等で読み込み手作業検査 ・2名1組による2重検査 など	本件は、請求書の引渡しから局出しまで短期間の作業であること、また、請求書は重要な個人情報であることから、手作業による封入や誤封入検査では作業の効率性や精密さに欠けるものと考えます。また、請求書の誤封入や誤配は個人情報の漏えいが発生したこととなりますため、万一にもそのような事態が生じないよう、OCR-Bフォントを利用する等の精度の高い検査を希望します。ご意見をいただきましたが、誤封入防止機能のある封入封緘機による指定については仕様書どおりといたします。なお、納期（「定期請求書」は中3～4営業日、「振替不能請求書」は中2営業日）については、請求書が本機構全体の機械処理スケジュールにより作成されていることから引渡し日の前倒しは困難であり、払込期限等を考慮して設定した発送予定日の後ろ倒しも難しい状況です。納期の長期化は残念ながら困難であることをご理解くださいますようお願いいたします。
3	仕様書等について	【A】定期請求書（人的保証）における封入パターンが多い。同封物が同一であるなら帳票を1ヤマにまとめ出力することで封入パターンを減らすことが可能ではないか。それにより、封入作業の効率化＝作業コストの低減化が可能となる。	ご指摘を踏まえ、封入点数は必要最小限となるよう、関係部署と調整し、可能な限り改善いたします。
4	仕様書等について	【A】定期請求書（人的保証）・【B】振替不能者等への請求書共に項番3.にある「なお、土曜日は営業日扱いとすること。」の記載ですが、政府が働き方改革を推し進めるなか、本来休日である土曜日を営業日とすることを仕様書に明記するのはあまり好ましくないと考えられます。	前月分の入金反映を確認してから請求書を作成し、一定の期日までに配達する必要があります。そのため、毎月ではありませんが、予備日として土曜日を営業日扱いとする必要があります。今後も、発送件数が多い月は、この条件で対応をお願いいたします。
5	入札等の日程について	4月から履行開始の年間案件につきましては、3月の入札でなく、可能であれば1月頃を希望します。	今回のご意見を踏まえ、他部署との調整も含めて、可能な限り1月中に入札できるよういたします。